

## 資料 令和7年における主な労災事故の発生及び給付状況一覧表（当組合取り扱い分）

発生年月	職 種	年齢	発生場所	発生したときの状況	給付内容
7年3月	配管工	69歳	始良市	作業場の解体作業中、屋根のコンパネを外す際にコンパネが腐食していたため、約3メートル下に転落し胸椎を圧迫骨折した。	療養・休業補償給付 (休業102日請求)
7年5月	大工	51歳	高鍋町	外壁下地取付け作業中、材料を取りに幅12センチの土台基礎を渡っていたところ、バランスを崩し背中から90センチ下へ転落し、設備配管固定ボルトに右肘が接触し裂傷、打撲、右股関節を捻挫した。	療養・休業補償給付 (休業16日請求)
7年6月	大工	43歳	宮崎市	EXパワーボード耐力面材を外部足場にて二人で張り付け作業中、手がすべり重さ30キロほどのEXパワーボード耐力面材が左足甲に落下し圧挫傷した。	療養・休業補償給付 (休業14日請求)
7年9月	配管工	69歳	都城市	元請の土場に戻り後片付けの作業中、2トントラックに2本のスロープをかけたコンボを降ろしていたところ、1本のスロープが外れ約2メートルの高さからコンボごと転落し右肋骨、右頬骨を骨折した。	療養・休業補償給付 (休業74日請求)
7年12月	大工	40歳	宮崎市	長さ4mの木材を6本まとめて運搬していた際、足を滑らせ荷物置きに棚に肋骨を強打し肋骨を骨折した。	療養・休業補償給付 (申請中)

### 前年の労災事故の特徴

- ・1年間の発生件数としては5件で、令和6年に比べて増加しています。
- ・被災された組合員さんの年齢別では、40代から60代まで幅広い年齢層での負傷がありました。
- ・ケガの特徴としては、転落による様々な部位の骨折が多くみられました。

### 給付について

- ・療養(補償)給付：傷病で病院等にかかったときは、無料で治療が受けられます。
- ・休業(補償)給付：傷病で休業したときは、その4日目から1日について給付基礎日額の60%相当額(特別支給金として別に20%)の支給があります。

万一、労災事故が発生したときは、当組合へ①発生日時、②場所、③発生状況、④受診した病院・薬局 をご連絡ください。

折り返し、病院・薬局に提出する労災の請求書等をお送りさせていただきます。なお、労災事故発生に伴う事務費用は発生しません。

宮崎県建設業事業主組合  
(0985) 22-6337